

1 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

2024年1月1日の午後、石川県^{すず}珠洲^{しんげん}市内を震源とするマグネチュード7.6の地震が発生しました。この地震は「令和6年^の能登半島地震」と命名されることとなりますが、地域によっては最大震度^{しんど}7を記録し、周辺の地域に大きな被害をもたらしました。内閣府の発表によると、2024年10月29日現在で、石川県内だけで全半壊^{ぜんはんかい}の家屋は25,000戸以上、死者も400名以上にのぼっています。道路・鉄道・港湾^{こうわん}なども大きな被害を受け、現地は山がちの地形のため、①食料品など、救^{きゅう}援^{えん}物資の輸送が難しく、大きな問題となりました。また、②ライフラインの被害も大きく、被災者の日常生活は困難なものになりましたが、2月からは仮設住居への入居が始まるなど、復興は着実に進んでいました。

ところが、能登半島は、9月に③記録的な豪雨^{ごうう}にみまわれ、全半壊の家屋は400戸にせまり、浸水^{しんすい}の被害を受けた家屋も多数に上り、十数名の死者も出るほどで、せっかく建設された仮設住宅でも深刻な被害が出ました。

このように、複数の災害が、複合的に被害をもたらすことは、これまでもくり返されてきました。災害に強いまちづくりをするためには、さまざまな災害に対する備えを考えておくことが必要なのです。

問1 下線部①に関連して、以下の問いに答えなさい。

(1) 図1は、2012年度～2022年度までの、日本の食品ロス量^{すいり}の推移をあらわした図です。食品ロスとは国民に供給された食料のうち本来食べられるにもかかわらず^{はいき}廃棄されている食品のことで、このうち、事業系食品ロスとは売れ残りや規格外品^{きかくがい}、返品、食べ残し（家庭の食べ残しは除く）などを指します。図1を読み取った内容として正しいものを、次のア～エのうちから1つ選び、記号で答えなさい。※廃棄とは捨てるという意味、削減とは減らすという意味です。

ア 2012年度の食品ロス量は、2022年度の食品ロス量の2倍以上である。

イ 食品ロス量は年々増加しており、より食べ物をむだにしない意識をもつ必要がある。

ウ 2030年度事業系食品ロス量削減目標を達成することは一度もできていない。

エ 2015年度の事業系食品ロス量は他の年度に比べて、もっとも高い値となっている。

☐

(2) 食品ロスの発生には、特定の立場の人だけに責任があるわけではないため、それぞれの立場で協力しながら取り組むことが大切です。食品ロスを削減するための取り組みとして正しいものを、次のア～エのうちから1つ選び、記号で答えなさい。

ア なるべくたくさんの食品を買って、家庭内の在庫を増やす。

イ 食品の製造日などを確認し、新しく製造されたものから購入する。

ウ コンビニやスーパーマーケットなどで、閉店間際に食料品のタイムセールを行う。

エ 外食店では消費者の食べ残しが問題なので、大盛りメニューを導入する。

☐

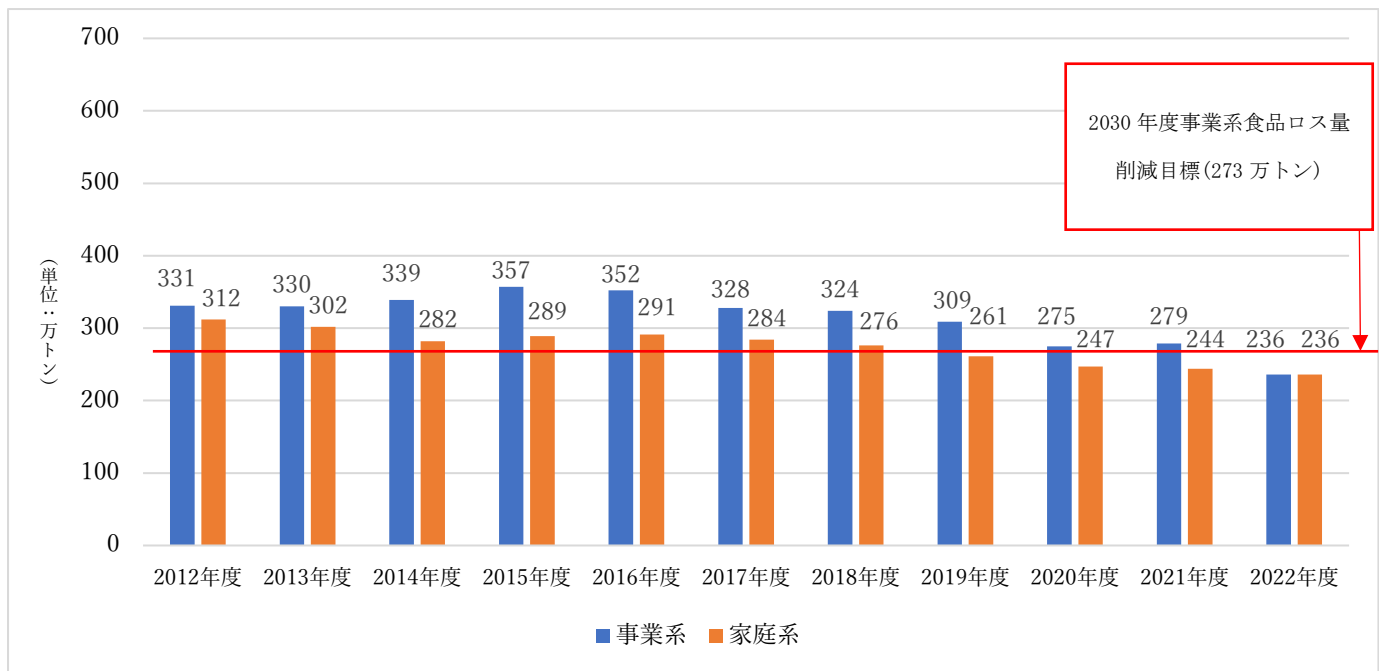


図 1 : 日本の食品ロス量の推移 (2012 年度～2022 年度)

問 2 下線部②に関連して、ライフラインとは、都市生活の持続に必要な電気・ガス・水道・通信・輸送などのことです。1995 年 1 月 17 日に発生した阪神淡路大震災では、快適で安全な生活に欠かせないライフラインの機能は停止しました。阪神淡路大震災でのライフラインの復旧について、図 2 と図 3 を見て、以下の問いに答えなさい。また、復旧とはライフラインを被災前と同じ機能にもどすことです。

(1) ライフラインの復旧について、図 2 と図 3 からわかることを、次のア～エのうちから 1 つ選び、記号で答えなさい。

ア ガス・水道・電気の順に復旧した。

イ 水道は、ピーク時には 495,300 戸の供給が停止し、これは全供給戸数の 9 割にあたる。

ウ ピーク時に、供給停止した戸数の全供給戸数に対する割合が、最も低かったのはガスである。

エ 地震発生から 1 週間以内に、電気は復旧し、水道は半数の戸数が復旧した。



(2) 倒壊家屋などをのぞき、電気・ガス・水道がすべて復旧したのは、地震発生から何カ月後か答えなさい。ただし、図 3 の折れ線グラフが終わっている時点で復旧していたものとします。

カ月後

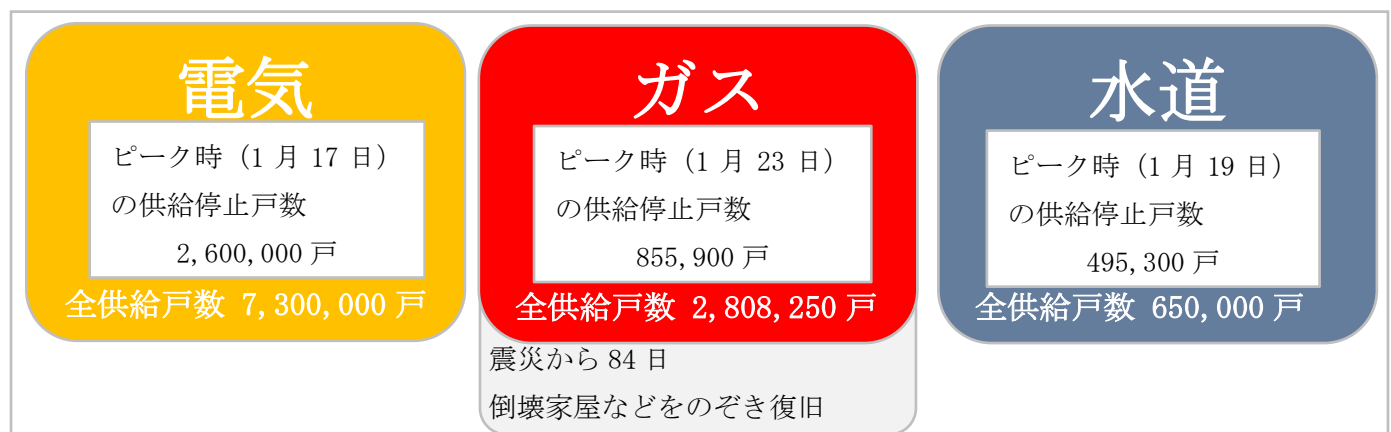


図 2 : 全供給戸数と供給停止戸数

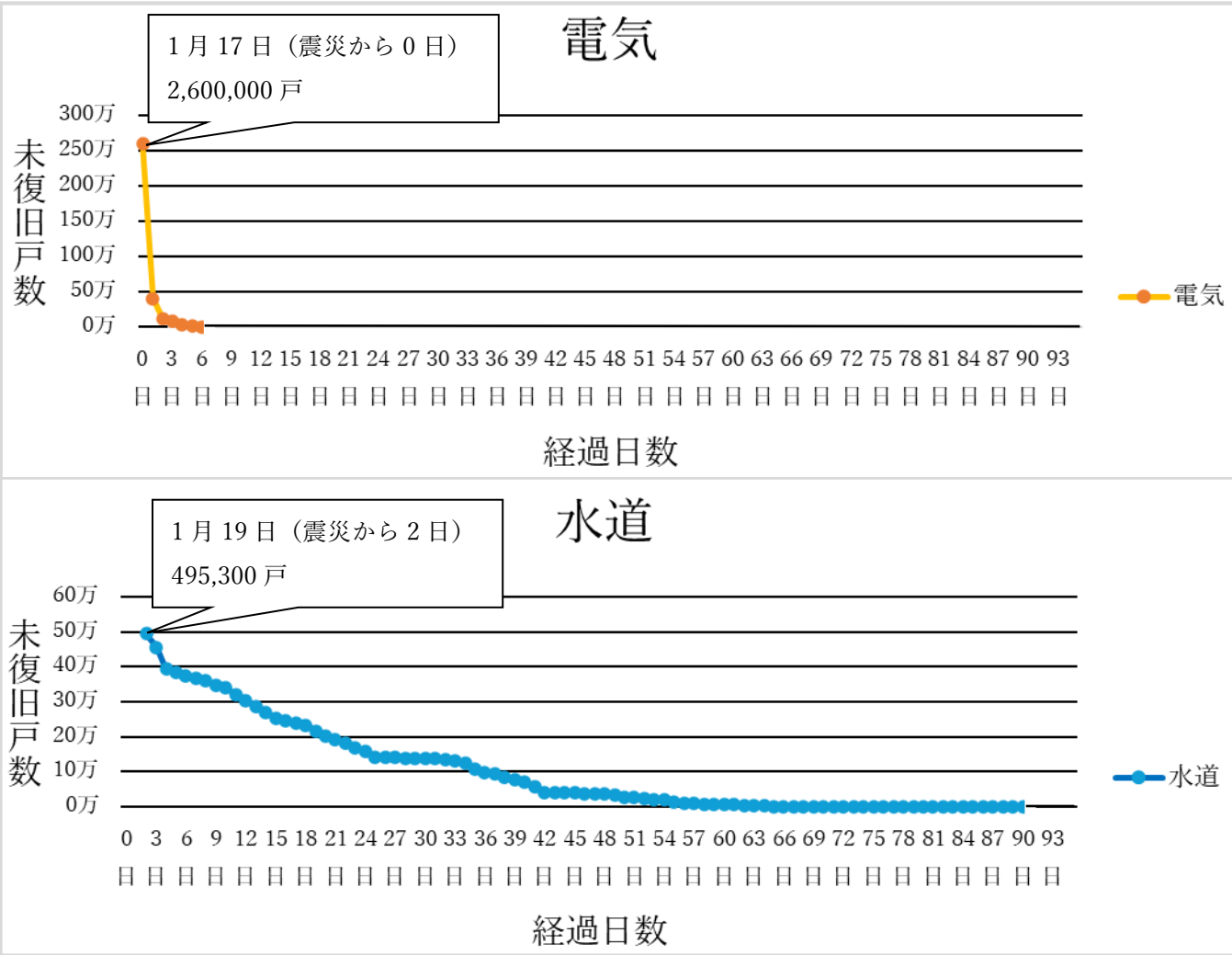


図3：おもなライフラインの復旧状況

(3) 巨大地震が起こったときに、図4のような町にはどのような被害が出ると予測されるか答えなさい。また、その被害を減らすために、図4の町ではどのように改善すれば良いのか答えなさい。写真1を参考としてもかまいません。



写真1

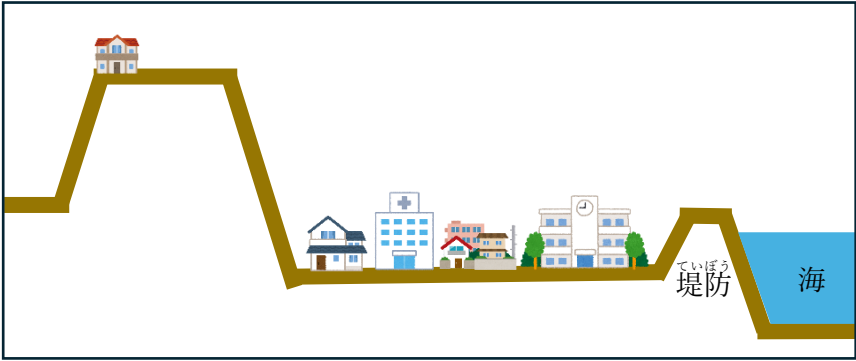


図4

巨大地震が起こったときの被害	
図4の町の改善点	

問 3 下線部③に関連して、最近の極端な集中豪雨の増加の背景には、地球温暖化の影響があると考えられています。国連の定めた「持続可能な開発目標（SDGs）」の中には「目標 13 気候変動に具体的な対策を」があります。

地球温暖化は、海面の上昇や集中豪雨の増加だけではなく、結果として、穀物の収穫量の減少をもたらすことが指摘されています。事実、1981 年から 2002 年にかけて、トウモロコシや小麦その他の主要作物の収穫量は全世界で毎年 4,000 万トン減少しているとされます。

さらに、この問題を解決するために、新たに広い面積の畑を開いて世界の穀物の収穫量を増やそうとした場合に、地球にどのような悪い影響がおこることが予想されますか。その影響を 2 つあげなさい。写真 2 と写真 3 を参考としてもかまいません。



写真 2



写真 3

1

2

引用元

図 1：農林水産省（2024）「食品ロス及びリサイクルをめぐる情勢」

図 2～図 3：神戸新聞 NEXT「データでみる阪神淡路大震災」から出題者作図

写真 1：産経新聞ウェブサイト（産経フォト）「東日本大震災パノラマ」

<https://www.sankei.com/photo/panorama/news/160305/pnr1603050001-n1.html>

写真 2：産経新聞ウェブサイト（産経フォト）

<https://www.sankei.com/photo/story/news/160617/sty1606170001-n1.html>

写真 3：ロイターウェブサイト

<https://jp.reuters.com/life/UN06NW5BVFJUFCTGZIJSM6QEPA-2024-11-07/>